

# 令和6年度 第1回奈良県学校・地域パートナーシップ事業 地域学校協働活動推進員等連絡会 実施報告書

- 1 日時 令和6年6月26日(水) 13:15~16:30
- 2 会場 奈良県立教育研究所 中講座室1・2・3
- 3 参加者 学校・地域パートナーシップ事業における地域学校協働活動推進員等 計77名
- 4 内容 13:15~13:20 開会  
13:20~13:45 行政説明「地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員等の役割」  
奈良県教育委員会事務局 人権・地域教育課 指導主事  
13:45~14:35 講演「あなたのコネクトが子どもの学びを豊かにする」  
文部科学省総合政策局 CSマイスター  
ゆめ☆まなびネット代表・コーディネーター 大谷 裕美子  
14:35~14:45 質疑応答  
14:45~15:00 休憩・移動  
15:00~16:15 情報交換・意見交流  
16:15~16:25 講評  
16:25~16:30 閉会

## 5 講演の概要

「誰かとつながったり、どこかの企業や団体と結びついたりすることで、子どもの経験値が上がり、子どもの成長につながること」、「コミュニティ・スクールとは何か」、「地推員等の役割とは何か」など、御自身の経験も併せて御講演いただいた。 ※ 地推員等…地域学校協働活動推進員等



- ・学習指導要領にある育成すべき資質・能力の三つの柱において、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」については、学校で養っているが、「学びに向かう力、人間性等」を学校の中だけで養うことはなかなか難しい。子どもたちの「学びに向かう力、人間性」を養うために、コミュニティ・スクールという仕組みがあり、それに加えて学校と地域をつなぐ地推員等の役割が大変重要になる。
- ・コーディネートする際に、学校と地域のクッション役・フィルター役になることを心がけてほしい。守秘義務やボランティアの心得等を「伝える力」、また、「聴く力」及び「発信する力」が大切になる。
- ・協力してくれるボランティアの見つけ方について、「地域のキーパーソンへの相談」、「行事への参加者を次回の行事の協力者にする」と、「チラシや名刺を配布すること」などがある。
- ・新年度のスタートに、学校長にお願いして、職員朝礼で地推員等があいさつし、先生方と顔見知りになっておくことは、学校と地域のスムーズな連携・協働のために重要である。

## 6 情報交換・意見交流

テーマを「地域学校協働活動を進めるために地推員等として取り組んでいること」として、1グループ4名~5名で実施した。

### 【講評】

- ・地域の方が、学校のため、子どものために支援したいという思いを学校につなぐことが、地推員等の大きな役割なんだと改めて思った。また、各校が多様な取組を行っていることに、感心した。
- ・地域全体で子どものことを気にしてくれる人を増やすと、地域の教育力を高めることにつながる。このことも地推員等の大きな仕事の一つである。
- ・地推員等は、学校と地域が「貸し借りの関係」にならないように、学校は地域の方を便利使いしないようにお互いが十分に気をつけるようにすることが大切である。

## 7 感想

- ・経験に基づいた話で説得力のある話が聞けました。今日の話は、教員・保護者・地域人材が各立場共通して話を聞いても良いなあと思いました。
- ・地域学校協働活動の具体的なイメージがこれまでなかったが、大谷先生の講演を聞き、フワフワだったイメージが、少し固まった気がします。
- ・様々な例をあげ、取組をわかりやすく話していただき、持ち帰って活動に生かしていきたいと思いました。

